

# 新型コロナウイルス感染症対策と子育てサロン運営について

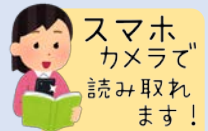
新型コロナウイルスの感染拡大状況下では、感染が落ち着いてきた地域においても、再び感染が拡大しないよう予防する「新しい生活様式」に移行していくことが大切だと言われています。

地域の皆さんが取り組まれている子育て世代の情報交換や交流の場「子育てサロン」は一般成人よりも免疫力や体力の低い乳幼児が集まる場であるため、サロン再開に向けて慎重な検討や対策をしてください。

以下、各分野専門の団体等が示したガイドラインや指針に関する情報をご紹介しますので、今後の運営検討の参考にさせていただきますようお願いいたします。

## 通いの場×新型コロナウイルス対策ガイド（東京都健康長寿医療センター研究所）

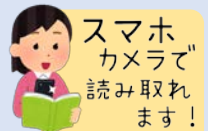
東京都健康長寿医療センター研究所が発行する、地域の「通いの場」向けの感染対策ガイドです。この対策ガイドは米国疾病予防センター（CDC）の子供向けケアプログラム再開ガイドラインを参照して作成されているため、子育てサロンにも一部流用できる内容があります。



サロン再開や運営にあたっての留意点、感染対策に準じた室内の環境構成を参考にしましょう。一方、乳幼児が動き回ることによって2m以上の間隔を確保することが難しい場合は、入室者数を制限したり、少人数で開催できるように開催日を分けたりするなど工夫が必要です。

## 2歳未満の子どものマスク着用について（公益社団法人 日本小児科医会）

2歳未満の子どもは、気道が細いためマスク着用により呼吸がしにくくなることがあります。米国疾病予防センター（CDC）・アメリカ小児科学会（APP）の警告を受け、日本小児科医会でも着用に危険性があることを情報周知しています。



乳幼児にマスクをさせることに抵抗がある場合は、室内の換気をこまめに行ったり、入室者数を制限したり工夫しましょう。また、子どもたちを含めた参加者が合い向かいにならないよう、紙芝居や絵本の読み聞かせをして興味を引くなど、プログラムの内容についても検討をしてみましょう。





ビデオ通話 で つながりづくり！

担い手さんにも参加者のママさんパパさんにも、もしかしたら集まることに抵抗のある方がいらっしゃるかもしれません。もし皆さんがスマホを持っているなら、最近流行りの「ビデオ通話」でサロンを開催してみるのも一つの手です。



ポイント



ビデオ通話のためのスマホの使い方、ビデオ通話を使ったサロンの進め方を、担い手さんだけでなく協力してくれそうな参加者さんとも相談しましょう。職場や友達グループで「ビデオ通話をした！」という人が身近にいるかもしれません。意見や使い方を聞いてみましょう。ビデオ通話は、子どもと直接触れ合えないほか、保護者の参加者さんとも個別で話すことが難しい側面があります。ビデオ通話の雰囲気や特性に合わせて、楽しくゆったりと参加できるようなプログラムを考えてみましょう。

ビデオ通話でやってみよう・画面で見ても分かりやすい簡単なおもちゃ作り

くるくるわっか

遊ぶ：2才くらい～ / 作る：5才くらい～



紙や広告を帯状に切る  
(A4サイズ 1/4くらい)



端と端を真ん中あたりで重ねて  
ホチキスで留める  
(2つくらい留めましょう)

ちょっと高いところからそっと手をはなすと……  
くるくる回りながら落ちてくる！

かみコプター

遊ぶ：2才くらい～ / 作る：5才くらい～



高いところから手をはなすと  
くるくるまわって落ちる！



紙や広告を帯状に切る  
(A4サイズ 1/4くらい)



帯の中心まで  
片側から切れ込みを入れる



切れ込みを入れた部分を  
羽根のように折る



尻尾の部分に重りをつける  
(クリップやホチキス)